

國語の發音及語法に關する調査

官立漢城外國語學校

緒言

朝鮮總督府保轉本

國語ノ發音及ビ語法ニハ教授上特ニ注意ヲ要スベキモノ尠カラズ本書ハ本校ニ於テ是等ノ事項ニ關シ常ニ經驗セル材料ヲ蒐集分類シ且ツ附スルニ其原因ノ一班ヲ以テシタルモノナリ

朝鮮ニ於ケル國語教授上ノ參考ニ資センガタメ今之ヲ刊行セリ

明治四十四年九月

官立漢城外國語學校

困
難
な
る
發
音

凡 例

一、發音ハ表音的假名遣ヲ以テ之ヲ表ハセリ

一、誤レル發音中ニハ之ヲ寫スベキ適當ナル文字ナキモノ尠カラザルニ
ヨリ止ムヲ得ズ特殊ノ記號ヲ用ヒタルモアリ

一、リンゾウ(濫造)、ジシヤク(磁石)ナドノ如ク困難ナルモノ二音以上アル場
合ト雖特ニ主眼トスル音ノミヲ摘出スルニ止メタリ

困難なる發音

目次

第一 清音

〔一〕ツがス、チュの如くなる例……………	一
〔二〕スがツ、チュの如くなる例……………	二
〔三〕ニがイとなる例……………	四
〔四〕ラ行がナ行となる例……………	五
〔五〕タ行がダ行の如くなる例……………	八

第二 濁音

〔一〕ガ行がハ行にハ或はホを附したる如くなる例……………	二
------------------------------	---

〔二〕サ行 が 𪛗 行に 人 を 附 したる 如く 一一

或は 𪛗 行の 如くなる 例……………一七

〔三〕タ行 が 𪛗 行に 人 を 附 したる 如くなる 例……………二三

〔四〕バ行 が 𪛗 行に 人 を 附 したる 如く

或は 𪛗 行の 如くなる 例……………二八

第三 拗音

〔一〕シャ が サ となる 例……………三五

〔二〕サ が シャ となる 例……………三六

〔三〕ショ が ソ となる 例……………三七

〔四〕ソ が ショ となる 例……………三八

〔五〕チャ が 𪛗 となる 例……………四〇

〔六〕チ^リが^リとなる例……………四〇

第四 促音

〔一〕促音が直音に近くなる例……………四二

〔二〕促音に變ずる例……………四三

第五 長音、短音

〔一〕長音が短音となる例……………四四

〔二〕短音が長音となる例……………四四

ツ
ツはス又はチに近き
一種の音を表はす

困難なる發音

第一 清音

〔一〕ツ が ス、チュの如くなる例

ツクエ(机)

ツモリ(積リ)

ツライ(辛イ)

ツチ(土)

ツネニ(常ニ)

ツヨイ(強イ)

キツネ(狐)

サツマ(薩摩)

ヘツライ(諂イ)

カツオ(鰹)

ウツリ(移リ)

アツイ(暑イ)

クベツ[▲](區別)

シヨクモツ[▲](食物)

シユッパツ[▲](出發)

クツ[▲](靴)

シンセツ[▲](親切)

カツ[▲](且)

ツの音は元來朝鮮語には無きが故に發音困難なり、隨つてツ音に稍近き丛音或は五音の如く發するに至ること多し。諺文にてツを書き表すには丛或は五を以てするが故に、文字の媒妁により前項の如き誤を來すことあり。

ス

ス[▲]はツ又はチュに近き

〔二〕ス が ツ、チュの如くなる例

スミ[▲](墨)

スキマ[▲](隙間)

一種の音を表はす

スイセン[▲] (水仙)
スンデ[▲] (住ンデ)

スルメ[▲] (鰯)
スクナイ[▲] (少イ)

クスリ[▲] (藥)

フスマ[▲] (襖)

コスイ[▲] (湖水)

テスウ[▲] (手數)

タスケル[▲] (助ケル)

ヌスム[▲] (盜ム)

イス[▲] (椅子)

アス[▲] (明日)

ハス[▲] (蓮)

マス[▲] (枺)

ミス[▲] (簾)

オス[▲] (押ス)

アブラカス[▲] (油粕)

カクス[▲] (隠ス)

スは發音困難ならざれども、前例の如き關係よりツ又はチュ
と混同を來すこと多し。

ニ

〔三〕ニ が イ となる例

イ^ツチュウ(日中)

イワ(庭)

イグルマ(荷車)

イカイ(二階)

イル(煮ル)

イワカ(俄)

インジン(人蔘)

イクム(憎ム)

インタイ(忍耐)

イゲル(逃ル)

イラム(睨ム)

イガイ(苦イ)

イワトリ(雞)

イジッセン(二十錢)

ラ行

イシ(西)

イギヤカ(賑カ)

イギル(握ル)

イオイ(香)

イコニコ(莞爾)

イク(肉)

イシン(鯨)

ニの音は朝鮮語にもあれど、此音が語頭に來る時には明瞭に發音し得ずしてイと誤ること多し。

朝鮮語にてはニの音が語頭にある時には文字にてㄴと書き表はしながらも、イと發音する習慣あり。

〔四〕ラ行 が ナ行 となる例

リはナ行に變りてニ
となるべきもニは前
例の如く困難なるに
よりイと誤るに至る

ナクダイ(落第)

ナンボウ(亂暴)

ナンプ(洋燈)

ナクダ(駱駝)

イエキ(利益)

イカ(理科)

イッシ(立志)

イスウ(里數)

インゴ(林檎)

イウガク(留學)

イウイキ(流域)

ヌイジ(類似)

ヌイラン(累卵)

ヌス(留守)

ネイボウ(禮帽)

ネンゴウ(聯合)

レはナ行に變りてネ
となり更にヤ行に變
りてエとなり二重の
誤を來すこともあり

エイボウ(禮帽)
エンゴウ(聯合)

ネンシュウ(練習)

ネットウ(劣等)

ネンガ(煉瓦)

ノウジン(老人)

ノウカ(廊下)

ノウバイ(狼狽)

ノバ(驢馬)

ラ行の音が語頭に來る時には明瞭に發音し得ずしてナ行
の音に誤ること多し。

ラ行の音はハ行の文字にて書き表はしながらも、ナ行の音
に誤り發すること前例「ニ」に於けるが如し。

タ行

タはダに近き一種の
音を表はす

(チ以下之に準ず)

〔五〕タ行 が ダ 行の如くなる例

タマゴ(卵)

タタカイ(戰)

アタマ(頭)

キタナイ(穢イ)

イタ(板)

ネッタイ(熱帶)

ムチ(鞭)

イチゴ(苺)

キチガイ(狂氣)

コチ(此方)

フツゴウ(不都合)

ヒツジ(羊)

レッ(列)

ヘツイ(竈)

カテイ(家庭)

キテキ(汽笛)

テン[△]テン[△](點々)

モッ[△]テ[△](持ッテ)

ネ[△]テ[△](寐テ)

オモッ[△]テ[△](思ッテ)

ア[△]ト[△](後)

ミ[△]ナ[△]ト[△](港)

コ[△]ト[△]バ[△](言葉)

イ[△]ッ[△]ト[△]ウ[△](一等)

タ行は往々にして却て困難なるダ行の如く誤るゝこゝあり。
タ行が語中、語尾にある時には連濁と混同してダ行の如く
誤るゝこゝあり。

タ行は恰も激音の如く聞ゆる場合あり、然るに激音と濁音
とは極めて密接なる關係あるにより、タ行は頓てダ行に近
く誤るに至る。

促音の下なるタ行をダ行の如く誤るは、元來促音は朝鮮語の人と相似たるにより、タ行音の上にある促音の代りに人を持ち來りてタ行音に加へ、タ行の激音即ち濁音の如く發するによるなるべし。

第二 濁音

ガ行

ガ

カはガにもあらずカ
にもあらずる一種の

音を表はす

(キ以下之ニ準ず)

〔二〕ガ行 が 𛄀行にム或は〇を附したる如くなる例

カ[△]コウ(學校)

カ[△]ス(瓦斯)

カ[△]ンシヨク(顔色)

カ[△]ン(雁)

カ[△]イコク(外國)

カ[△]ラス(硝子)

カ[△]ンセキ(岩石)

カ[△]ヤ

オ[△]カワ(小川)

ネ[△]カイ(願)

ナ[△]キカオ(泣顔)

ウ[△]タカイ(疑)

カ[△]カイシヤ(加害者)

カ[△]イカン(海岸)

ギ

ケカ[▲] (怪我)

ズカ[▲] (圖画)

トカ[▲] (咎)

イカカ[▲] (如何)

キカ[▲] (起臥)

ワタクシカ[▲] (私ガ)

キシキ[▲] (儀式)

キロン[▲] (議論)

キノウ[▲] (技能)

キシカ[▲] (銀貨)

キウコウ[▲] (行幸)

キョルイ[▲] (魚類)

キウバ[▲] (牛馬)

スキル[▲] (過ギル)

カキリ[▲] (限)

コキッテ[▲] (小切手)

キレキレ[▲] (切れ々)

ナキナタ[▲] (薙刀)

キンキン[▲] (金銀)

グ

トクキ[▲](徳義)

ムキ[▲](麥)

カキ[▲](鍵)

ハキ[▲](萩)

サキ[▲](鷺)

クドン[▲](愚鈍)

クンシュ[▲](郡守)

カチク[▲]リ(勝栗)

シタレ[▲](時雨)

ナンキ[▲](難儀)

クキ[▲](釘)

ツナキ[▲](繋ギ)

ツキ[▲](次)

クンカン[▲](軍艦)

クンシュウ[▲](群集)

アナクラ[▲](窖)

メクル[▲](廻ル)

ゲ

サ[△]ク[△]ル[△] (探ル)

ト[△]ク[△]チ[△] (戸口)

ド[△]ウ[△]ク[△] (道具)

コ[△]ク[△] (漕グ)

カ[△]ク[△] (嗅グ)

バン[△]ク[△]ミ[△] (番組)

ハ[△]ク[△] (剃グ)

ヌ[△]ク[△] (脱グ)

オ[△]ヨ[△]ク[△] (泳グ)

ケ[△]タ[△] (下駄)

ケン[△]キン[△] (現金)

ケ[△]イ[△]ニン[△] (藝人)

ケン[△]カイ[△]ナ[△]ダ[△] (立海灘)

ケ[△]ニ[△] (實ニ)

ケ[△]カ[△] (外科)

ケ[△]ッ[△]ボ[△]ウ[△] (月俸)

ケン[△]コ[△]ク[△] (原告)

ケン[△]ジュ[△]ウ[△] (嚴重)

ケ[△]ネ[△]ツ[△]ザ[△]イ[△] (下熱劑)

ゴ

カ[△]ケ[△]ン (加減)

マ[△]ケ[△]ル (曲ゲル)

キ[△]ケ[△]ンセツ (紀元節)

ハ[△]ケ[△]アタマ (禿頭)

サ[△]ケ[△]カミ (下ゲ髪)

ナ[△]ケ[△]ル (投ル)

ヒ[△]ケ[△] (髻)

ト[△]ケ[△] (刺)

カ[△]ケ[△] (蔭)

ト[△]ウ[△]ケ[△] (峠)

ト[△]カ[△]ケ[△] (蜥蜴)

ユ[△]ケ[△] (湯氣)

コ[△]イ[△]ッシヨ (御一緒)

コ[△]シ[△]キ (五色)

コ[△]ミ (芥)

コ[△] (碁)

コ[△]マ (胡麻)

コ[△]ンベ[△]ン (音廂)

コボウ[▲] (牛蒡)

コフクヤ[▲] (吳服屋)

コロ[▲] (轟々)

シコト[▲] (仕事)

チカコロ[▲] (近頃)

ツミコエ[▲] (堆肥)

ワラコヤ[▲] (葦小屋)

ハタコザ[▲] (花蓆)

タマコ[▲] (卵)

アカコ[▲] (赤子)

ホコ[▲] (保護)

コクコ[▲] (國語)

シウコ[▲] (正午)

ミナシコ[▲] (孤)

朝鮮語には元來完全なる濁音なきを以て其發音頗る困難

なり、随つて之を聴き別くる力も乏しきにより、ガ行音を升行にハ或は○を附したる音の如く誤るに至る。

諺文にてガを書き表はすには、ハ、ハ、ハ(ギ以下之に準ず)などの形を以てするが故に、文字の媒嬖によりても前項の如き誤を益多からしむるに至る。

鼻濁音を發するには「ン」を其上に來る音に籠らせて只母音のみを軽く發す、例へば「怪我」を ケ^ンァ 「過ギル」を ス^ンィル と發するが如し。

ザ行

ザ

(二)ザ行 が ㅈ行にハを附したる如く或はㅈ行の如くなる例

ㅈ^ハイサン(財産)

ㅈ^ハッシ(雜誌)

サはザにもあらずサ
にもあらざる一種の
音を表はす

(シ以下之ニ準ず)

サシキ[▲](座敷)

サクロ[▲](柘榴)

サンネン[▲](殘念)

サンコク[▲](慘酷)

コサラ[▲](小皿)

ニサカナ[▲](煮肴)

カサカミ[▲](風上)

カンサラシ[▲](寒晒)

トウサイ[▲](東西)

コオリサトウ[▲](氷砂糖)

ハコサキ[▲](箱崎)

キンサイ[▲](近在)

ハサクラ[▲](葉櫻)

サンサン[▲](散々)

ギンサ[▲](銀坐)

トンサ[▲](頓挫)

ゴサ[▲](蓆)

ヒサ[▲](膝)

シ[△]カン (時間)

シ[△]ユウ (自由)

シ[△]シ^ヨク (辭職)

シ[△]ンルイ (人類)

シ[△]ッサイ (實際)

シ[△]ゼン (慈善)

シ[△]ビキ (字引)

シ[△]ンギ (仁義)

フ[△]シサン (富士山)

カン[△]シン (肝腎)

フウ[△]シル (封ジル)

テン[△]シンサマ (天神様)

コ[△]シン (古人)

ク[△]シ (籤)

ダン[△]シ (男兒)

キ[△]シ (雉子)

カ[△]シ (火事)

サ[△]シ (匙)

ク[△]ンシ (訓示)

ズ

スイブン[▲] (隨分)

スズ[▲] (數珠)

スン[▲] く

スボン[▲] (洋袴)

スルイ[▲] (狡猾)

ネスミ[▲] (鼠)

ススメ[▲] (雀)

ススリ[▲] (硯)

コウスイ[▲] (洪水)

モノスキ[▲] (物好き)

サンスン[▲] (三寸)

ススシイ[▲] (涼い)

スス[▲] (鈴)

カス[▲] (數)

ハス[▲] (筈)

ミミス[▲] (蚯蚓)

ゼ

ロ[△]ッス[△](論ズ)

セ[△]ンカイ[△](全快)

セ[△]ニ[△](錢)

セ[△]ンア[△]ク[△](善惡)

セ[△]イタ[△]ク[△](贅澤)

オ[△]オセ[△]イ[△](大勢)

ソ[△]セ[△]イ[△](租稅)

カ[△]セ[△](風)

ハ[△]セ[△](簾)

セ[△]ンゲ[△]ツ[△](前月)

セ[△]ヒ[△](是非)

セ[△]ツ[△]チ[△]ウ[△](絶頂)

シ[△]セ[△]ン[△](自然)

エ[△]ン[△]セ[△]ツ[△](演說)

ア[△]セ[△](哇)

ナ[△]セ[△](何故)

トリマセ[▲](取り交ぜ)

ソウ[▲](象)

ソウホウ[▲](増俸)

ソウリ[▲](草履)

ソクゴ[▲](俗語)

ソウキン[▲](雑巾)

ソウサク[▲](造作)

ケイソク[▲](繼續)

トウソク[▲](盜賊)

ランソウ[▲](濫造)

ノソミ[▲](望)

シンソク[▲](親族)

ドソウ[▲](土藏)

ホソン[▲](保存)

ミソ[▲](溝)

エソ[▲](蝦夷)

センソ[△](先祖)

サソ[△](嚙)

ドウソ[△](何卒)

朝鮮語にはザ行の音なきを以て其發音頗る困難なり、隨つてザ行により近き音卽ち斗行に人を附したる如く、或は斗行の如く誤るに至る。

諺文にてザ行を書き表はすには外、𐄂、𐄃、𐄄、𐄅、或は자、지、즈、제、ㅈを以てするが故に、文字の媒嬖によりても前項の如き誤を益多からしむるに至る。

ダ行

〔三〕ダ行 が 斗行に人を附したる如くなる例

ダ

△
タはダもにあらずタ
にもあらざる一種の
音を表はす
△
(チ以下之ニ準ず)

△
タイコン(大根)

△
タマル(黙ル)

△
タメ(駄目)

△
タンキ(暖氣)

△
ネタン(直段)

△
クタモノ(果物)

△
タカタイ(高臺)

△
ナミタ(涙)

△
エタ(枝)

△
カラタ(身體)

△
タイイチ(第一)

△
タイリ(代理)

△
タシイレ(出入)

△
タラク(墮落)

△
ソウタン(相談)

△
クタリ(下り)

△
ヘタテル(隔テル)

△
ラクタ(駱駝)

△
クタ(管)

△
ハタ(肌)

デ

タタ[▲](只)

ショウフタ[▲](正札)

テンポウ[▲](電報)

テグチ[▲](出口)

テキル[▲](出来ル)

テワ[▲](出羽)

テッキ[▲](甲板)

テツチ[▲](丁稚)

テンゴン[▲](傳言)

テンバタ[▲](田畑)

テコボコ[▲](凸凹)

ヘンテン[▲](返電)

キュウチン[▲](宮殿)

ナテル[▲](撫デル)

ステニ[▲](既ニ)

ナンテモ[▲](何デモ)

ハテヤカ[▲](派手ヤカ)

メテタイ[▲](目出度)

ド

フテ[△](筆)

ウテ[△](腕)

マテ[△](迄)

ソテ[△](袖)

ヒトテ[△](人手)

カエテ[△](楓)

トコ[△](何處)

トク[△](毒)

トイツ[△](獨逸)

トウチ^ヨウカン[△](道長官)

トック[△](船渠)

トロボウ[△](泥棒)

トリ^ヨウコウ[△](度量衡)

トジン[△](土人)

ウントウ[△](運動)

コウトウ[△](講堂)

グトン[△](愚鈍)

コントウ[△](混同)

ク[△]ントウ(訓導)

メ[△]ントウ(面倒)

スイ[△]トウ(水道)

イカ[△]ホト(如何程)

コ[△]ント(今度)

カ[△]ト(角)

ネ[△]ント(粘土)

ノ[△]ト(咽喉)

ホ[△]ント(本土)

キ[△]ト(木戸)

ホ[△]トント(殆ど)

ダ行も朝鮮語になきにより其發音頗る困難にして、^ㄷ行に
人を附したる如く誤ること多し、而して此音は濁音中最も
困難なるものゝ如し。

諺文にてダ行を書き表はすには, 다, 따, 타, 따, 타, 따 或は 타, 따, 타, 따 臣の如き形を以てするが故に、文字の媒嬖によりても前項の如き誤を益多からしむるに至る。

ダ行をナ行に誤ること初步のものに往々見る所なり。

バ行

バ

ハはバにもあらずハにもあらずる一種の音を表はす

(ヒ以下之に準ず)

〔四〕バ行

가 ㅂ行にムを附したる如く或はㅂ行の如くなる例

ハシヨ(場所)

ハントウ(番頭)

ハカ(馬鹿)

ハイバイ(賣買)

ハクフ(幕府)

ハクハン(麥飯)

ハケモノ(化ケ物)

ビ

ヒ[△]ハリ(雲雀)

カ[△]ハン(鞆)

サン[△]ハシ(棧橋)

シ[△]ハ(芝)

キ[△]ハ(牙)

サ[△]ハ(鯖)

ヒ[△]ウハン(評判)

コン[△]ハン(今晚)

シ[△]ハル(縛ル)

ソ[△]ハ(蕎麥)

ハ[△]ハ(幅)

オ[△]ハ(叔母)

ヒ[△]ール(麥酒)

ヒ[△]ジン(美人)

ヒ[△]ワ(琵琶)

ヒ[△]ンボウ(貧乏)

ヒ[△]ッコ(跛)

ヒ[△]ウイン(病院)

ブ

ヒッ[▲]クリ (喫驚)

ヒ[▲]ウブ (屏風)

ユウ[▲]ヒン (郵便)

ハ[▲]ヒコル (蔓ル)

キ[▲]ヒン (機敏)

コ[▲]メヒツ (米櫃)

サ[▲]ヒル (銹ル)

ノ[▲]ヒル (延ル)

テツ[▲]ヒン (鐵瓶)

ムス[▲]ヒ (結ビ)

カ[▲]ヒ (黴)

ヘ[▲]ヒ (蛇)

トモシ[▲]ヒ (燈火)

タ[▲]ヒ (足袋)

アソ[▲]ヒ (遊ビ)

フ[▲]シ (武士)

フ[▲]ンブ (文武)

フ[△]ジ(無事)

フ[△]チ(斑)

フ[△]ドウ(葡萄)

フ[△]ンギ^ヨウ(分業)

ケン[△]フツ(見物)

シン[△]フン(新聞)

シン[△]フツ(神佛)

シ^ヨク[△]フツ(植物)

タカ[△]フル(高ブル)

シン[△]ゲン[△]フクロ(信玄袋)

ドン[△]フリ(井)

コ[△]フ(昆布)

クラ[△]フ(倶楽部)

ヒ[△]フ(日歩)

ナイ[△]ム[△]フ(内務部)

ト[△]フ(飛ブ)

べ

ヘン[▲]リ[▲] (便利)

ヘ[▲]ニ[▲] (紅)

ヘ[▲]ッ[▲]コウ[▲] (鼈甲)

ヘ[▲]ン[▲]トウ[▲] (辨當)

ヘ[▲]ン[▲]チ[▲] (長椅子)

ヘ[▲]ル[▲] (鈴)

キン[▲]ヘン[▲] (勤勉)

カン[▲]ヘン[▲] (勘辨)

タ[▲]ヘル[▲] (食ヘル)

ソウ[▲]ヘツ[▲] (送別)

サン[▲]ヘン[▲] (三遍)

ス[▲]ヘテ[▲] (總ベテ)

ス[▲]ヘル[▲] (滑ル)

カ[▲]ハ[▲] (壁)

シラ[▲]ヘ[▲] (調査)

ウ[▲]ミ[▲]ヘ[▲] (海邊)

ヒ[▲]ノ[▲]ヘ[▲] (日延)

コウ[▲]ヘ[▲] (神戸)

ホタ[▲]ン(牡丹)

ホク[▲](僕)

ホシ[▲]ウ(募集)

ホロ[▲](襪襪)

タバコ[▲]ホ[▲]ン(煙草盆)

ケツ[▲]ホ[▲]ウ(缺乏)

ハク[▲]ホ[▲]ク(白墨)

トン[▲]ホ[▲](蜻蛉)

フ[▲]ホ[▲](父母)

ホウ[▲]シ(帽子)

ホウ[▲]エ[▲]キ(貿易)

ホウ[▲]エ[▲]ン[▲]キ[▲]ウ(望遠鏡)

ホウ[▲]ズ(坊主)

シ[▲]ホ[▲]ル(絞ル)

ト[▲]ホ[▲]ケ[▲]ル(恍惚)

シン[▲]ホ[▲]ウ(辛抱)

イ[▲]ホ[▲](疣)

フ[▲]ン[▲]ホ[▲](墳墓)

ホ[△]ホ(略)

セイ[△]ホ(歳暮)

バ行も朝鮮語になきを以て其發音頗る困難なり、随つてバ行により近き音即ち叶行に人を附したる如く、或は叶行の如く誤るに至る。

諺文にてバ行を書き表はすには、ㅍ、ㅑ、ㅓ、ㅕ、ㅗ、ㅛ、ㅜ、ㅠ、或はㅍ、ㅑ、ㅓ、ㅕ、ㅗ、ㅛ、ㅜ、ㅠの如き形を以てするが故に、文字の媒嬖によりても前項の如き誤を來すことあり。

シ
ャ

第三 拗音

〔二〕シャ が サ となる例

サシ^ヨウ (車掌)

サカイ (社會)

サシン (寫眞)

サクシ (杓子)

サシ (奢侈)

サム (暹羅)

サチホコ (鯨)

トウサバン (謄寫板)

ジサク (磁石)

タイサク (貸借)

クザク (孔雀)

イッサク (二尺)

サ

〔三〕サ

が^ガ シャ^{シャ}なる例

カンサ(感謝)

キサ(汽車)

セツサ(拙者)

ガクサ(學者)

ケイサ(傾斜)

セイザ(正邪)

シャイバイ(栽培)

シャイシ(妻子)

シャイゼン(最前)

シャクラ(櫻)

シャカナ(肴)

シャガケン(佐賀縣)

キシヤマ(貴様)

アシャガオ(朝顔)

アシャツテ(明後日)

ゴジャイマス(御座います)

シ
ヨ

ジュンシヤ(巡查)

カラカシヤ(傘)

イクシヤ(軍)

チュウシヤ(中佐)

シヤ、サは發音上困難ならざれども、元來朝鮮語にてはシヤをサに發音する習慣あるより、國語にても此二音を混同するところあり。

〔三〕シヨがソミなる例

ソウネン(少年)

ソウユ(醬油)

ソウカ(唱歌)

ソウガク(小學)

ソウカイ(紹介)

ソウソウ(少將)

ソ

〔四〕ソ

が ショとなる例

シロバン(算盤)
シウメン(素麵)

シロマツ(粗末)
シウダン(相談)

イツウ(二升)
ニツク(日蝕)

ホソウニン(保證人)
ソソウ(訴訟)

ケイソウドウ(慶尙道)

トクソ(讀書)

ケイサツソ(警察署)

メイソ(名所)

シヨシヨウ(祖宗)

シヨクジツ(即日)

シヨウネン(壯年)

シヨウデス(然ウデス)

アラシヨイ(争イ)

キシヨク(規則)

ロウシヨク(蠟燭)

ヘイシヨツ(兵卒)

タイシヨウ(体操)

ミシヨ(味噌)

キシヨ(基礎)

ウシヨ(虚言)

ワタクシコシヨ(私コソ)

シヨ、ソは發音上困難ならざれども、元來朝鮮語にてはシヨをソに發音する習慣あるより、國語にても此二音を混同するところあり。

チ^ャ

チ^ャは[▲]ㅈを表はす

チ^ョ

〔五〕チ^ャがㅈとなる例

チ^ャミセ(茶店)

チ^ャクシ(嫡子)

チ^ャクジツ(着實)

トウチ^ャク(到着)

コウチ^ャ(紅茶)

朝鮮語にてはㅈをㅈに混同する習慣あるよりチ^ャをㅈに誤るることあり。

〔六〕チ^ョがㅈとなる例

チ[▲]は五を表はす

チ[▲]チク(貯蓄)

チ[▲]クリツ(直立)

チ[▲]ット(一寸)

チ[▲]サク(著作)

チ[▲]クニンカン(勅任官)

チ[▲]ッキ(短衣)

朝鮮語にては五を五に混同する習慣あるよりチ[▲]を五に誤るることあり。

第四 促音

〔一〕促音が直音に近くなる例

セ ン ダ テ (先達)

ハ チャク (發着)

ア ツ マ テ (集ツテ)

ト オ リ カ カ テ (通り掛ッテ)

モ ト モ (最モ)

イ ラ シャイ (居ッシャイ)

オ シャイマシタ (オッシャイマシタ)

促音と人ごを混同して促音を直音に發し人をば下の音に送るより誤を來すところあり。

三 促音 に變ずる例

ツッキ(月)

セッケン(世間)

タヅネッタ(尋ネタ)

アリマシタ(有リマシタ)

スギッテ(過ギテ)

リョッコウ(旅行)

セツカイ(世界)

オサメッテ(治メテ)

ヨイコトダット(善イコトダト)

ジツニ(實ニ)

テットウ(鐵道)

ケッコウ(結合)

ケッタン(決斷)

ベッタン(別段)

長音

短音

第五 長音短音

〔一〕長音 が 短音となる例

クチュウ(空中)

ドウチュウ(道中)

チキユ(地球)

ガンビョ(眼病)

ギョム(業務)

サンジュサンネン(三十三年)

ガッコ(學校)

カト(下等)

トウキョ(東京)

リョウトハントウ(遼東半島)

〔二〕短音 が 長音となる例

セイトウ(生徒)

サンボウ(散歩)

キョウトウ(京都)

ユウヨウ(猶豫)

サンドウ(三度)

ユウゲ(湯氣)

ゼントウ(前途)

シュウジン(主人)

シウコク(諸國)

シウクン(諸君)

バシウ(場所)

イツシウ(一緒)

ギウシウ(行書)

クジウホウ(驅除法)

モウメン(木綿)

